

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 崔 博憲

提出年月日 2011 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文 日本の新しいニューカマーと親密圏

－東南アジア出身の外国人研修生・実習生を中心に－

英文 ‘New new comers’ in Japan and Intimate Spheres:

Focusing on foreign trainee and technical interns from Southeast Asia

【メンバー構成】

研究代表者 崔博憲

【ねらいと目的】（600 字程度）

近年の外国人看護師・介護士の受け入れや入管法の改正は、日本社会の公共圏と親密圏の再編と連動した動きである。本研究は、こうした変化のなかで、労働力として新たに包摂される者たちに注目し、その具体的な諸相を明らかにするべく、外国人研修・技能実習制度を通じてタイやラオスから来日し、合法的に日本で働く外国人を対象として、調査研究を行った。

「新たなニューカマー」とでも呼びうる外国人研修生・技能実習生のなかには、雇用の調整弁として扱われ、基本的な権利さえも奪われた環境で働いている者も少なくない。そうした問題は、より広く社会に認識され改善されなければならない。本研究でも、ときに「奴隷労働」と言われるほど苛酷な環境で働く外国人研修生・技能実習生の実態に注目した。ただし、ここでは、そうした問題のみならず、日本に来る外国人たちのなかには、「自発的」に基本的水準以下で働いている者が少なくないという点にも注目した。なぜならば、その点こそが、公共圏と親密圏の再編における重要な論点だからである。人びとが自ら従属的な位置を選び取るということこそが、グローバルな「底辺への競争」の駆動力となっているのだが、本研究では、その問題を単なる構造分析に終わらせるのではなく、当事者である研修生・実習生たちの出身社会や、かれら自身や雇用者へのインタビュー調査を通じて、自発的に権利や自由が制限されている従属的な位置を選択することの意味を掘り下げて理解することに努めた。

【活動の記録】

研究会などでの報告

- ① 2010 年 5 月 27 日「外国人研修技能実習生の実態—おもに農業分野を中心に」京都大学 GCOE アド・ホック研究会、京都大学。
- ② 2010 年 12 月 20 日「タイ出身の外国人研修生・技能実習生—現代日本における外国人労働者問題を考えるために」マイグラント研究会、大阪弁護士会館。

海外調査

- ① 2010 年 7 月 26 日～9 月 25 日「外国人研修生・実習生の実態調査」（タイ）*エラスムス計画助成
- ② 2011 年 1 月 31 日～2 月 10 日「外国人研修生・実習生の実態調査」（タイ・ラオス）

【成果の概要】（800字程度）

外国人研修生・技能実習生を受け入れている日本国内の労働現場や、研修生・技能実習生の送り出し国であるタイやラオスで、新たに「合法的」に日本国内で単純労働に従事する人々の労働実態や生活環境、送り出し／受け入れのシステムなどについて調査を行った。また、外国人研修生・技能実習生の働く現場や出身社会でフィールドワークを行い、かれらが国境を越えた移住労働という自らの経験をどのようにとらえているのかという聞き取り調査を行った。

調査を通じて、研究の計画のねらいとしてあげた外国人研修生・技能実習生の過酷な労働環境の確認や、「底辺への競争」のなかで「自発的」に低廉な労働条件で働く外国人の実態とかれらの経験認識について考察することができた。また、そうした環境や実態、認識の後景には、労働市場の間隙が拡大するなかで国外から一定数の労働力を調達することで成り立っている日本社会の現在のあり方や、経済成長しつつも富の再分配の仕組みが変わり格差が拡大する送り出し国の現状についても検討することができた。

このような考察や検討によって得た知見は、これまでにいくつかの研究会やセミナーなどでの口頭発表や調査報告論文といった形で社会化しているが、現在、同様の問題関心をもつ研究者らとともに書籍化するための調整を行っている。

また、こうした調査研究以外に、同じく京都大学 GCOE のユニット研究「日本における外国人労働者の生活世界と地域社会の変容に関する実証的研究」班と協働し、日本の外国人労働者の現在についての研究会や勉強会を開催し、多様な外国人が新たに日本社会の構成員として労働し、生活している現状について重要な知見を得ることができた。そうした研究会や勉強会の成果についても今年度中に活字化する方向で準備を進めている。

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	250 (千円)	実績額 250 (千円)